

# API連携バッチ処理仕様書

第8版

## ▼改定履歴

版数	発行日	改定内容
初版	2023/11/30	・初版発行
第2版	2023/12/5	・システム名称を変更。 ・シーケンス図を修正。 ・エラー時の対応を修正。 ・メール関連の機能が不要になった為、削除
第3版	2023/12/12	・PMHからのエラー結果がArrayに変更になった為、仕様書を変更
第4版	2023/12/28	・プロジェクト名をPMHLink→PMH_Relayに変更 ・AppConfigに設定値の項目を追加 ・6.サービス追加追加手順を追加
第5版	2024/2/8	・IDトークンの処理を追加 ・リクエスト最大サイズを調整 ・PMHからのエラーメッセージをそのままログに出力するように変更 (PMH側で仕様変更が発生した場合も対応できるようにする為) ・PMHからエラーで返却されたファイルはエラーフォルダに格納する処理を追加
第6版	2024/3/20	・PHMからの処理結果のメール送信対応
第7版	2024/6/7	・一部誤記修正 ・全体構成見直し□
第8版	2024/8/20	・CSV送信機能、プロキシサーバ設定機能追加 ・システム稼働環境に、クライアントPCを追加 ・伝送システム→API連携バッチに変更 ・シート「機能仕様」にCSV送信機能、プロキシサーバ設定機能を考慮した仕様を追加

▼目次

- (1) システム概要
- (2) シーケンス図
- (3) 機能仕様

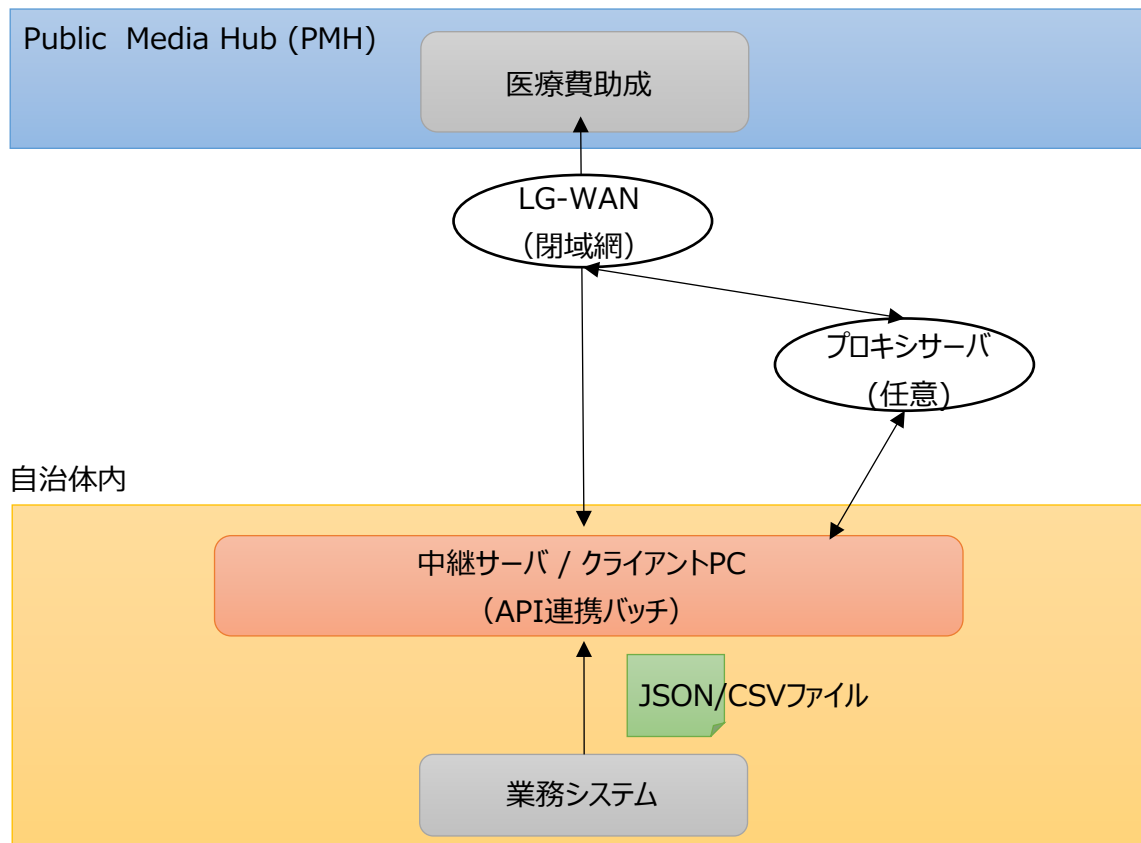
## (1) システム概要

### ▼目的

自治体の業務システムより出力した医療費助成情報のJSON/CSVファイルをPMHのAPI（医療費助成対象者情報登録）に連携し、処理結果を受取る仕組みを構築する。

### ▼システム構成

デジタル庁



### ▼システム稼働環境

中継サーバ

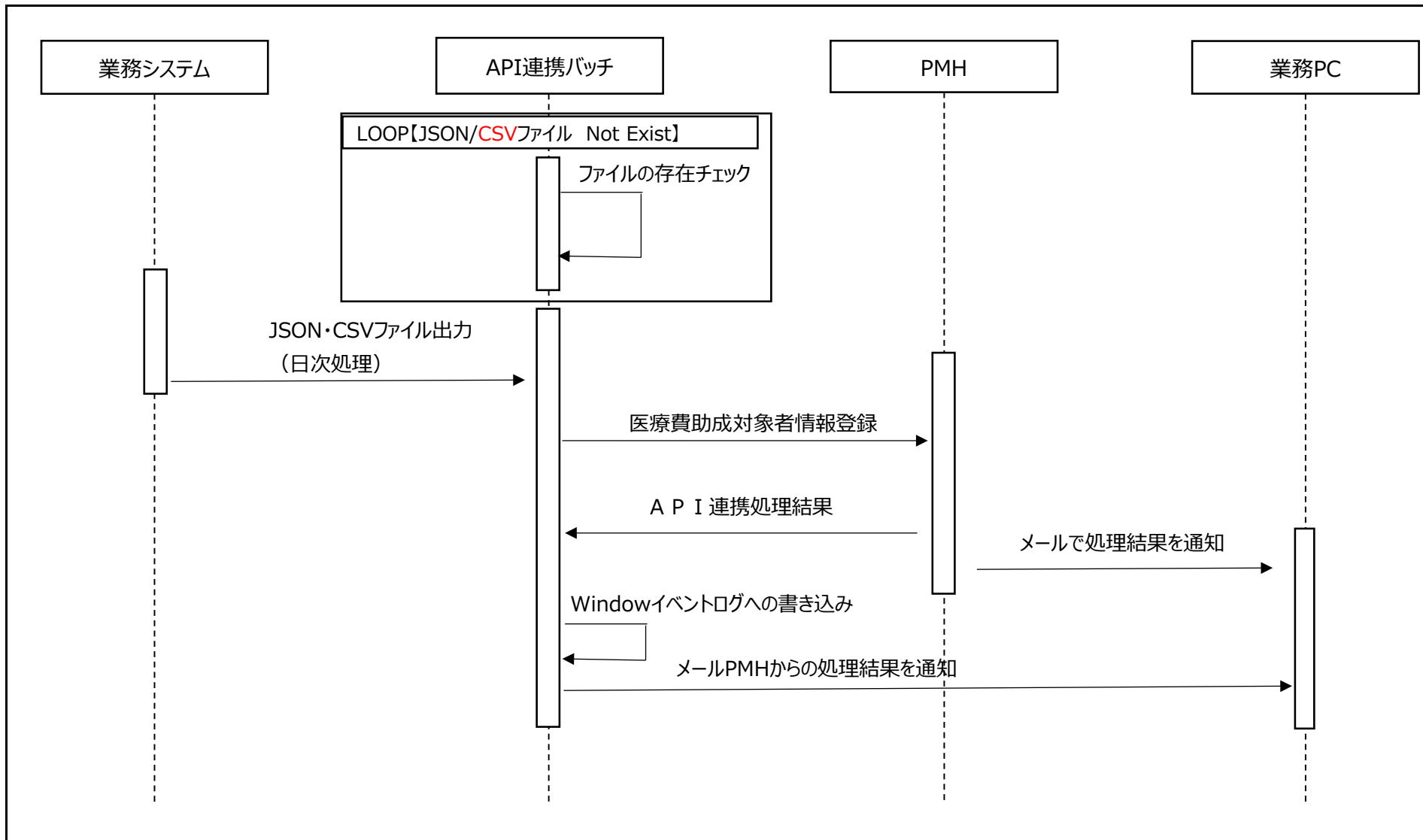
項目	稼働環境
OS	Windows Server 2016 以上
VCPU	1
Core	2
メモリ	8 GB以上
HDD (SSD)	100GB以上
.Net Framework	.NET Framework 4.8

クライアントPC

項目	稼働環境
OS	Windows 10 Pro Windows 11 Pro

CPU	Intel Core i5 以上、または同等のAMDプロセッサを推奨
メモリ	8 GB以上
HDD (SSD)	100GB以上
.Net Framework	.NET Framework 4.8

(2) シーケンス図



## (3) 機能仕様

### 1. 機能概要

- ・伝送システムはwindowsサービスとして構築する。
  - ・業務システムから作成されるJSON/CSVファイルが共有フォルダに作成されるものを常駐監視する。
  - ・JSON/CSVファイルが共有フォルダに作成された事をキックにしてPMHのAPI連携（医療費助成対象者情報登録API（自治体））を実行する。
- また、設定ファイルでプロキシ設定をしている場合は、プロキシサーバーを介して通信する。
- ・処理完了後には、インプットのJSON/CSVファイルを送信済みフォルダへファイル移動する。

### 2. ログについて

- ・PMH連携結果のログをイベントログに出力する。
- ・イベントログをメールで指定されたメールアドレスに通知する。

### 3. エラー時

- ・PMHからPMHで指定されたメールアドレスに詳細が送信される為、本システムは対応なし。
- ・エラー内容をイベントログに出力し、インプットのJSON/CSVファイルを送信済みフォルダへファイル移動する。